

# 巻 頭 言

JFE スチール 専務執行役員  
建材センター長

今鷹 悠治



建設市場は我が国の国内鉄鋼需要の半分近くを占める巨大マーケットであり、鉄鋼会社の事業戦略を決定する上で重要な分野であるとともに、「鉄」の貢献できる部分は非常に多いと考えている。近年、世界規模での業界再編、グローバル化の流れは、この建設市場にも大きな環境変化をもたらしてきている。公共事業の重点化とコスト縮減など、社会資本整備の効率性と透明性が求められるとともに、地球環境問題への対応、気候変動増大による災害への備えや首都圏直下型地震のリスク軽減、廃棄物問題の深刻化と循環型社会構築の必要性など、国民生活の安心・安全のみならず真の豊かさを実感できる国土づくりが重要視されるようになった。このような中で、我が国の人命・資産の保全という基本的な命題を再認識し、時代の要請にマッチした技術開発を推進することが私どもに課せられた重要な責務である。

一方、技術開発を促進させる環境も着実に整備されつつある。たとえば、建築基準法や道路橋示方書などの技術基準類について、構造物に付与すべき要求性能を全面に打ち出した性能規定形への移行があげられる。このような性能規定化の考え方の導入により、技術基準の国際化などいくつかのメリットを得ることとなるが、中でも、要求性能を満足すれば新技術・新工法を採用できる環境整備がはかられることの意義は大きい。もともと、「鉄」は強度・靱性・加工性などの点で建設資材として優れた特徴を持つ。また、地球規模でリサイクルシステムが完成された環境に優しい素材でもある。これらの特徴のさらなる改善と利用技術開発の融合により、安定社会の確立に向けた一層の貢献が必要である。

このような活動の一環として、JFE スチールでは土木・建築分野のオープンラボとして「鋼構造材料ソリューションセンター『THiNK SMART』」を開設した。設計・施工・維持管理などの課題をお客様とともに考え、鋼材の特徴を発揮した合理的な商品・ソリューション技術を提案していこうとするものである。JFE スチールおよびグループ各社が、素材から構造材・仕上材にいたる建材供給の総合企業グループとしてプレゼンスを高めていることをご理解いただくとともに、建設に関わる需要家各位のさらなるご満足をいただけることを期待している次第である。